



今月は
広報特派員
松橋西支援学校 麦田 幸幸
がお届けします

見た！聞いた！
地域の魅力再発見！

令和5年4月、松橋西支援の高等部が 松橋高内に移転予定です

本校は、児童生徒数が増加し深刻な教室不足となっています。その解消のため、高等部が松橋高内に移転。これを機に、両校の生徒の交流がさらに深まるよう、皆さんに本校の取り組みを紹介していきます。



ホームページ



ほくたち
松西のキャラクター
「につびー」

広報特派員や
地域おこし協力隊が
市内で起きた出来事を
伝えます。

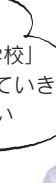


松橋高と交流しました

松橋高と本校の生徒会役員が自己紹介し、今後の交流方法についてZoomで話し合いました。次回は、本校生徒の作業製品販売について相談する予定です。



生徒たちと
「地域と共にある学校」
を目指してお伝えしてい
きます。よろしくお願
いします。



生徒会担当
麦田 幸幸 教諭
教科 保健体育
特技 サッカー
趣味 ドライブ

今月は 小川町小野部田のむかし話



こぼるのばさん

北小野と中小野の境の
小原というところに元気な
老婆が住んでいました。
買い物帰り、足を折り絶
命寸前の一羽の白鷺を見つ
け、家に連れ帰った老婆は、
親身に介抱。半年後、傷が
治った白鷺を山へ放してや
りました。

後世に残そう。
地域に伝わる
おとぎ話の世界。

数年がたち、正月も間近
というのに老婆は一人寂し
く病の床。元旦を迎え、気
も重く目をこすりこすり起
きるとびっくり。餅やおと
そ、おせちなど、立派な膳
が用意してあるではありませんか。それは白鷺が命の
恩人に示した心からの贈り
物。気丈な老婆の目にも涙
が光りました。以後、白鷺
の好意は老婆が天寿を全う
するまで続いたそう。

イラスト／村上 明日香

原画は市郷土資料館で展示中
(不知火美術館 学芸員)

あき家対策 おうちくん・バンクくん・わたしの

まちがいさがし



7つのまちがいをみつけてね。答えは35ページ。

市民投票
あなたはどっち？

永尾神社 派 223 票 47%	三角西港 派 248 票 53%
------------------------	------------------------

ちなみに
選ばない！ 64 票

PICK UP
永尾神社派
原田 信敬さん(24)
- 松橋町 -

撮影 chance
永尾神社では
冬至頃、夕日が
鳥居をくぐります。

12月の楽しみといえば
「クリスマス派 / 大みそか派」
回答は市公式LINEやメール、お便り。
回答期限 11/10㊥

市公式 LINE

器を使ってもらう喜び

「土には表情がある。作る過程や結果の中でいろんな顔を見せるんです。本当に人間っぽい。」
そう語るのは山根英二さん。
土に魅了され、陶芸を始めて30年以上になる。
制作は、デッサンから始まる。門外不出の手帳に、指の節を基に設計図を記す。そして、出したい色のために土の成分を計算

して土作り。塗る釉薬も手製だが、それに合わせてさらに土も作り直す。調整のいろはを探るだけでも10年程はかかるといふ。「大切に使われ、心が豊かになるように」。器に盛った食材の色が良かったと言われると頑張ろうと思う。器に導かれて知らない人と縁ができるのもすごく魅力的。」と山根さん。人の喜ぶ顔を思い浮かべ、新たな制作は続く。探求心のままに。



さんしゅうがま
山舟窯

小川町小川39-3
☎090-5941-3812

1 1時間で40個制作すること
2 工房にはたくさんの器
3 使いやすさにこだわった器には「山」のしるし

てくてくさんぽ
手しごとさんぽ

ものづくりをする手から生まれる作品は暮らしを心豊かに彩る。そんな命を吹き込む手仕事を紹介します。